

江差線三セクの

経営会議設置へ

道が方針

道は11日の道議会決算特別委員会で、北海道新幹線開業に伴いJR北海道が経営分離する江差線五稜郭―木古内間を引き継ぐ第三セクター鉄道について、2016年3月予定の開業後、収支改善策を協議する「道南地域第三セクター経営検討会議（仮称）」を設置する方針を明らかにした。

道と沿線の函館市、北斗市、渡島管内木古内町の3市町で組織する開業準備協議会を改組する。

道の三戸部正行交通政策局長は「三セクは開業当初から大変厳しい経営が見込まれる」とした上で、「検討会議で毎年度、三セクから経営状況や収支見通しの報告を受け、外部の学識者から意見を聞くことも検討する」と述べた。

民主党・道民連合の梶谷大志氏（札幌市清田区）の質問に答えた。